

**大手企業**

2輪車と船外機を中心に連結売上高の約9割を海外が占めるヤマハ発動機は、さらなるグローバル化に向けた体制構築を急いでいる。人材育成では、入社後4年目までにすべて



スズキは国内で約100万台、インドなど海外で約180万台生産している

**グローバル化進む県内企業****中堅・中小**

輸送機器部品を手がける中堅・中小メーカーは海外展開を加速している。杉本金属工業(静岡市駿河区)は、3月にタイでプレス部品の生産を始めた。タイの家電メーカーであるSNCフォーマー(サムットプラカーン県)と合併で、まずエアコンなど家電向けを生産する。その後、日系メーカー向けを中心に自動車部品の生産を始める方針。投資額は2億円。初年度売上高6億円を見込んでいる。

日本プラスチックは13年夏をめどに中国・中山市にエアバッグの新工場を建設する。同社にとって中国で3番目の工場。投資額は約10億円で年产能力は200万台分を計画する。新工場稼働により、13年の中国での生産量は現在比約2倍の年間430万台分となる。新工場には同社の中国拠点で初の開発機能も置く。

金型部品が主力のサンエイ(静岡県掛川市)はこのほどタイ工場(チャレンガオ県)からインドネシアへの金型部品の輸出を始めた。タイ



ジャトコの掛川工場ではムダを省くことで生産台数を増やす

工場の生産量を金額ベースで30%増の年間2億3000万円分に引き上げ、輸出分を増産する。日本の工場を介さずにタイから直接輸出することで「円高の影響を抑える」(伊藤友和社長)と考えた。

变速機メーカーのジャトコもメキシコ、中国に次いで13年秋にはタイ工場の稼働を目指すなど海外展開を加速する。一方、掛川工場(掛川市)ではスズキの軽自動車や小型車

センター」を稼働。将来は同様の開発拠点を台湾や中国にも展開し、現地ニーズに合った製品開発を行う計画だ。

スズキは世界で年間約280万台の自動車を生産・販売している。このうち国内生産は約100万台で、約180万台をインドなど海外の現地で生産販売している。鈴木修会長兼社長は「将来(年間生産台数が)300万台を超える時には200万台以上は海外で、国内は100万台以下になる」と想定。自ら海外工場を飛び回るとともに、海外への社員の派遣も増やしている。

ヤマハは音楽の演奏を楽しむ人を増やして楽器の需要を増やすことを目的に、世界40カ国以上の国と地域で「ヤマハ音楽教室」を開設している。1958年にメキシコに初の海外拠点を設置して以来、拡大してきた。近年では楽器演奏者の福野を広げるために、家族でバンドを組むなどして演奏を楽しむ「ファミリー・アンサンブル」の普及にも力を入れている。4月には家族で演奏する歌のコンテストをインターネット上で開催するなど、参加者が楽しめる工夫をして、業界を活性化している。

スズキは世界で年間約280万台の自動車を生産・販売している。このうち国内生産は約100万台で、約180万台をインドなど海外の現地で生産販売している。鈴木修会長兼社長は「将来(年間生産台数が)300万台を超える時には200万台以上は海外で、国内は100万台以下になる」と想定。自ら海外工場を飛び回るとともに、海外への社員の派遣も増やしている。

ヤマハは音楽の演奏を楽しむ人を増やして楽器の需要を増やすことを目的に、世界40カ国以上の国と地域で「ヤマハ音楽教室」を開設している。1958年にメキシコに初の海外拠点を設置して以来、拡大してきた。近年では楽器演奏者の福野を広げるために、家族でバンドを組むなどして演奏を楽しむ「ファミリー・アンサンブル」の普及にも力を入れている。4月には家族で演奏する歌のコンテストをインターネット上で開催するなど、参加者が楽しめる工夫をして、業界を活性化している。

静岡県の2012年度当初予算は雇用対策、地震・津波対策、少子化対策、エネルギーの地産地消への取り組み、内陸フロンティアの魅力ある地域づくりの五つの分野の施策を重点的に進める。地震・津波対策に前年度比2・3倍の236億円を計上したほか、新東名高速道路が開通するのを機に、工場団地造成など内陸部を開拓する事業を進める。

目玉となるのが内陸フ

ロントニアの魅力ある地

域づくりだ。4月14日の

新東名開通を機に、新東

名の全サービスエリア

(SA)とパークインエ

リア(PA)に臨時のヘ

リポートを準備する防災

・減災事業に重点を置

き、新東名の優位性を活

用して中山間地域、内陸

部を新たに開拓し、魅力

ある地域づくりを目指

す。4月17日に市町村と

の事務レベルで協議会を行って推進組織を立ち

上げた。たとぎ台をつく

り、経済界を加えた協議

会を経て、夏までに計画

をまとめ上げ、9月末ま

でに国の総合特区制度に

申請する。

東日本大震災

いい方針。

現行制度での対応に加

え、もう少し移転しやす

い方針。

新東名開通を機に、新東

名の全サービスエ

リア(PA)に臨時のヘ

リポートを準備する防災

・減災事業に重点を置

き、新東名の優位性を活

用して中山間地域、内陸

部を新たに開拓し、魅力

ある地域づくりを目指

す。4月17日に市町村と

の事務レベルで協議会を行って推進組織を立ち

上げた。たとぎ台をつく

り、経済界を加えた協議

会を経て、夏までに計画

をまとめ上げ、9月末ま

でに国の総合特区制度に

申請する。

東日本大震災

いい方針。

現行制度での対応に加

え、もう少し移転しやす

い方針。

新東名開通を機に、新東

名の全サービスエ

リア(PA)に臨時のヘ

リポートを準備する防災

・減災事業に重点を置

き、新東名の優位性を活

用して中山間地域、内陸

部を新たに開拓し、魅力

ある地域づくりを目指

す。4月17日に市町村と

の事務レベルで協議会を行って推進組織を立ち

上げた。たとぎ台をつく

り、経済界を加えた協議

会を経て、夏までに計画

をまとめ上げ、9月末ま

でに国の総合特区制度に

申請する。

東日本大震災

いい方針。

現行制度での対応に加

え、もう少し移転しやす

い方針。

新東名開通を機に、新東

名の全サービスエ

リア(PA)に臨時のヘ

リポートを準備する防災

・減災事業に重点を置

き、新東名の優位性を活

用して中山間地域、内陸

部を新たに開拓し、魅力

ある地域づくりを目指

す。4月17日に市町村と

の事務レベルで協議会を行って推進組織を立ち

上げた。たとぎ台をつく

り、経済界を加えた協議

会を経て、夏までに計画

をまとめ上げ、9月末ま

でに国の総合特区制度に

申請する。

東日本大震災

いい方針。

現行制度での対応に加

え、もう少し移転しやす

い方針。

新東名開通を機に、新東

名の全サービスエ

リア(PA)に臨時のヘ

リポートを準備する防災

・減災事業に重点を置

き、新東名の優位性を活

用して中山間地域、内陸

部を新たに開拓し、魅力

ある地域づくりを目指

す。4月17日に市町村と

の事務レベルで協議会を行って推進組織を立ち

上げた。たとぎ台をつく

り、経済界を加えた協議

会を経て、夏までに計画

をまとめ上げ、9月末ま

でに国の総合特区制度に

申請する。

東日本大震災

いい方針。

現行制度での対応に加

え、もう少し移転しやす

い方針。

新東名開通を機に、新東

名の全サービスエ

リア(PA)に臨時のヘ

リポートを準備する防災

・減災事業に重点を置

き、新東名の優位性を活

用して中山間地域、内陸

部を新たに開拓し、魅力

ある地域づくりを目指

す。4月17日に市町村と

の事務レベルで協議会を行って推進組織を立ち

上げた。たとぎ台をつく

り、経済界を加えた協議

会を経て、夏までに計画

をまとめ上げ、9月末ま

でに国の総合特区制度に